

---

# 当社のビジネスモデルについて

売掛債権等を活用した金融手法の現状と課題 セミナー資料

## eGuarantee

2013年4月24日

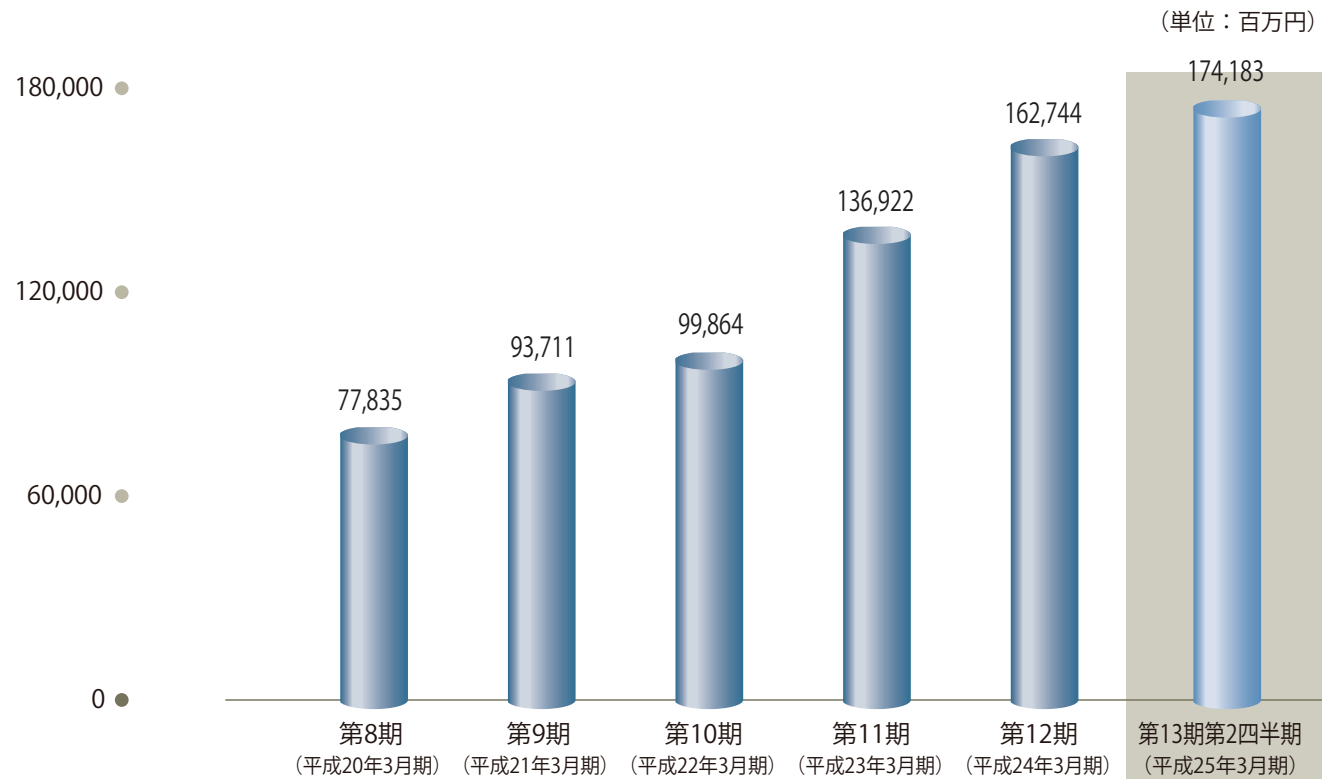
---

eGuarantee

# 当社概要

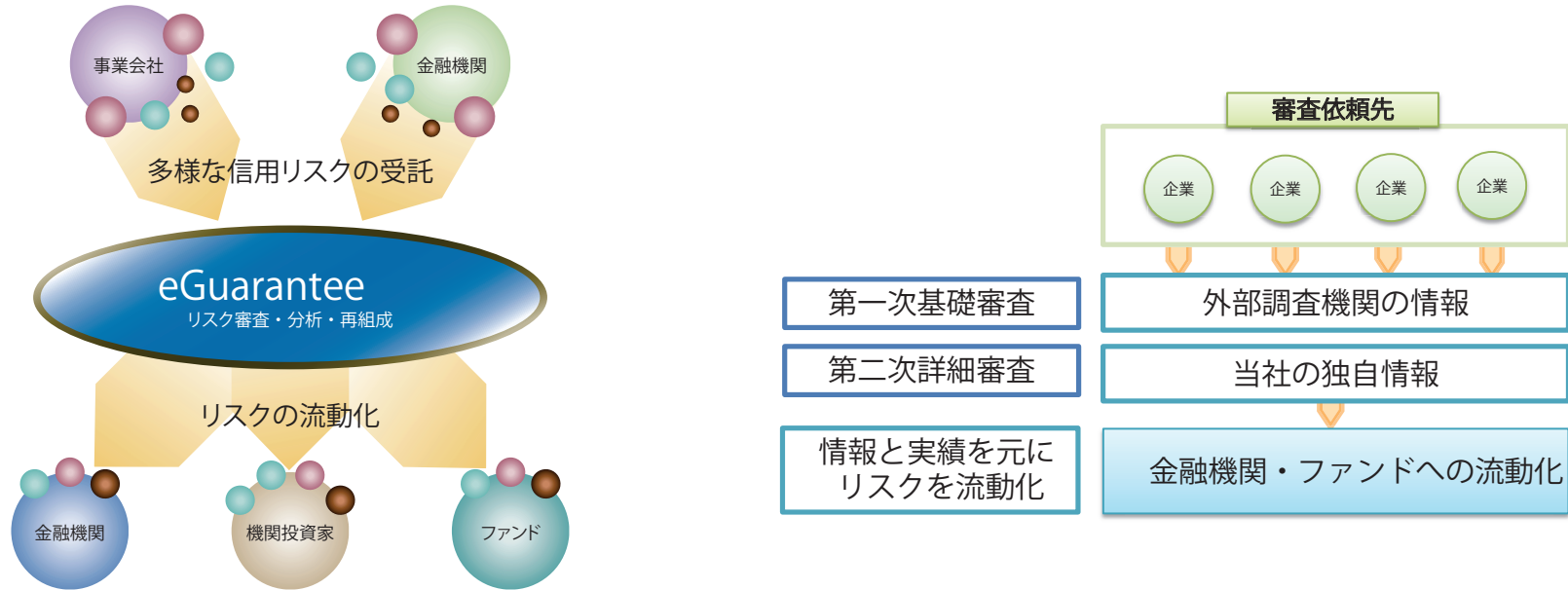
- 設立 2000年9月  
伊藤忠商事のほか調査会社等の出資により  
ファクタリング業務の再保証業務を目的として設立
- 事業内容 信用リスク受託・流動化事業
- 主要株主 伊藤忠商事株式会社  
株式会社帝国データバンク  
株式会社N T Tデータ
- 保証残高推移

第12期 (平成24年3月期)	(単位：百万円)
売上高	3,416
経常利益	854
当期純利益	468



# ビジネスモデル

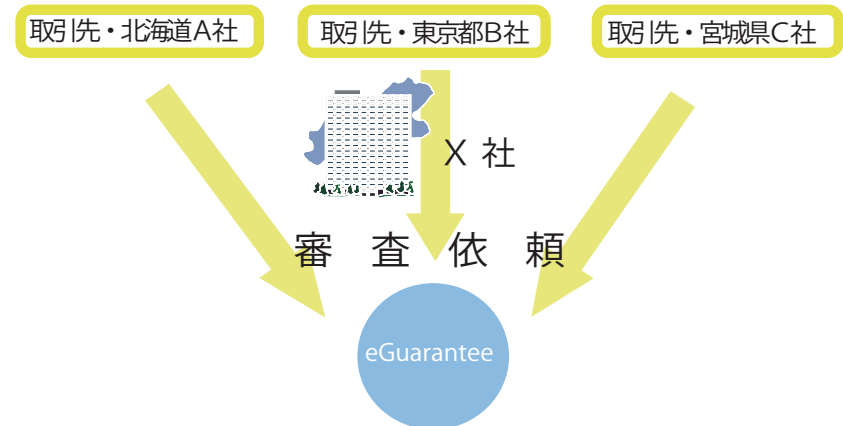
事業会社や金融機関から信用リスクを受託し、自社で審査・分析の上、金融機関やファンド等に流動化



月間約1万社の審査依頼データ入力により企業情報データベース(DB)を拡充

## 当社独自の審査

- 地方都市にある卸売業を営むX社に対し、短期間に特定の地域から審査依頼が集中。
- これにより当社は、企業情報データベースで同様の審査依頼集中があったケースの倒産確率を照会し、X社の保証料率を算出。
- また、審査依頼時に告知を受ける支払条件を基に取引全体を把握し、審査を実施する。

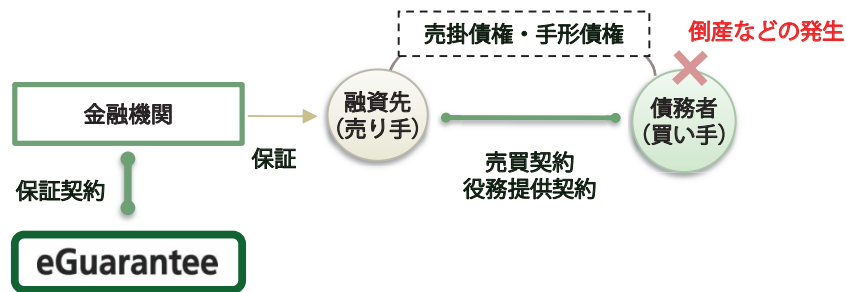


# 金融法人向け当社商品

## 金融法人の様々なビジネスシーンにあわせた保証スキームを用意

### 1. 売上債権保証の再保証

ファクタリングや保証ビジネスを営む金融機関の信用リスクを再保証という形でお引受けします。



### 2. 債権流動化保証

金融機関が債権流動化スキームを実施する際に、流動化の対象となる債権を保証する契約です。



### 3. 売掛債権担保融資保証

売掛債権担保融資を受ける企業とイー・ギャランティの間で、売掛債権保証契約を実施いたします。そうすることで、売掛債権の毀損リスクを低減し、担保評価を高めることができます。



#### 保証形式

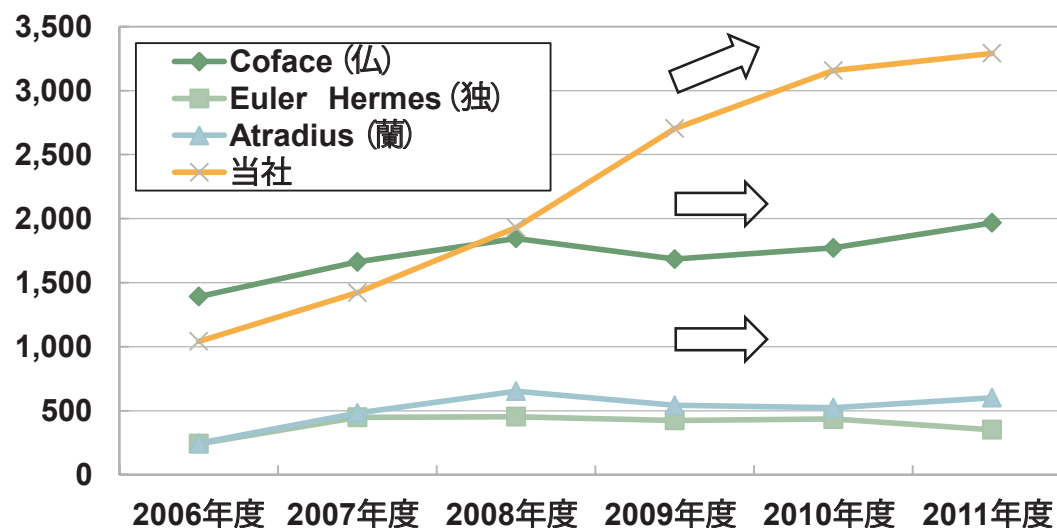
- 一定額を超過する部分の引受けを行う形式
- 一定割合(100%を含む)のリスクを当社で保有し、残り部分をお客様である金融法人が保有する形式

# 国内におけるシェア

保険料・保証料収入比較

(単位:百万円)

事業年度 \ 企業名	Coface(仏)	Euler Hermes(独)	Atradius(蘭)	当社
2006年度	1,391	242	246	1,041
2007年度	1,662	449	482	1,421
2008年度	1,845	453	652	1,930
2009年度	1,684	424	542	2,703
2010年度	1,771	435	524	3,156
2011年度	1,967	351	601	3,291



- ・信用リスクヘッジサービスを提供する企業のうち、外資系各社は頭打ちが続く。
- ・当社は一貫して売上高の増加が続いている。

(出典:外国損害保険協会 『外国損害保険事業者 業容一覧表』)

# フロードのリスク回避

企業情報データベースにおいて、審査依頼に循環性が見られた場合、該当する取引内容を精査することにより、フロードのリスクを回避。

